

議会広報委員会視察研修報告書

議会広報委員会では、平成 29 年 11 月 14 日から 15 日の 2 日間の日程で、東京都多摩市議会、町田市議会、神奈川県寒川町議会を訪問し、議会だより編集等に関する調査をしてまいりました。参加者は、福田克之副委員長、大河原千晶委員、岡村浩雅委員、笹沼昭司委員、加藤朋子委員、若見孝信委員、渋井康男委員、事務局職員 1 名、そして私、委員長の石原孝明であります。

はじめに

今回は、紙面づくりについて 6 項目、動画配信・タブレット利用・議場設備等・議会における ICT 化について、特色ある紙面づくりについて調査を行ないました。

多摩市議会

多摩市議会では、リニューアルをおこなうため、プロジェクトチームを立ち上げ 1 年間検討を行ない、平成 29 年 5 月号からタブロイド版から A4 版に変えました。

A4 版は見やすくファイルしやすいが、ページ数が増えることから執行部に予算を要求し説明を重ね獲得をしたとのことでした。

広報委員長は元新聞記者（編集者）で各議員と印刷業者に細かく指示しているとのこと。

特に市広報紙との違いをはっきりさせるために題字募集を行ない、また特集記事を掲載しリニューアル初号は高校生との意見交換会を特集し、議会を身近に感じる工夫をしている。

今後は、写真を多用し試行錯誤を繰り返す、議会内外の意見を聴くとともに、各戸配布化を進めていきたいとのことでした。



町田市議会

町田市議会では、新聞折り込みや民間施設（郵便局、駅、スーパー、農協、大学）の配置を重点に行なっていることからタブロイド版を採用している。

議長、副議長、監査以外の議員がほぼ一般質問をしているので、議員あたり掲載スペースが小さいとのことでしたが、1 面見出しに話題の記事を掲載し、最近では熱回収施設について、高校生との意見交換会が掲載しており、見ていただく工夫がされています。

現在の議長が、ネットの配信を奨励しているので、紙媒体だけでなくネットを重視している感がありました。

今後は、動画配信、ネットの配信に加え、Twitter を実施するとのことでした。

町田市 研修風景



寒川町議会

寒川町議会では、A4版を採用している。

難しい漢字や専門用語は使わず、用字は一定、見出しにも工夫があります。

広報委員長は、前議長で議会運営委員長も兼ねています。

現在、町議会ならではの利点を活かし、全国町村議会議長会、地方議会人などへ掲載、広報研修会にも積極的に参加して、掲載記事の固定化や読みたくなるレイアウトにつとめている。

今後は、文章を少なくし、イラスト、写真の活用、さらに広告掲載などの財源の確保につとめたいとのことでした。

寒川町 研修風景



まとめ

今回の視察先3つの議会で共通して言えることは、核となる広報委員長のリーダーシップのもと進めている感がありました。

また、一般質問原稿については各議員を信用し原稿依頼をするので、広報委員はチェックをし、他の特集記事に力を注ぐことができます。

各議員の信頼裏付けには、3つの議会ともにICT化が進んでおり、タブレット導入や議会中継システムやボタン採決や大型スクリーン設置など議場・委員会質設備の充実が図られ、会議録資料を待たなくても、生中継の映像がすぐに手に入るのと同時に、会派からの代表者が委員に選任されており、問題が無いとのことでした。

さくら市議会だよりも、節目節目でリニューアルをしていますが、今回の視察を通じてICT化をさらに進め、導入可能なものはすぐに採用し、より良い市民に開かれた議会広報に努めてまいります。